

70年大阪万博では生活産業館のアートディレクター、 86年には大阪府産業功労賞授賞。デザイン、アートと活躍した田中健三

大阪三越で広報誌「みつこし」のデザインに携わっていた田中健三(1918~2012)は、戦前の38年から戦後の59年まで自由美術家協会を舞台に抽象絵画を発表しており、国立近代美術館「抽象と幻想展」(1953~54)では招待出品するなど、日本の現代美術界で活躍しました。様々な造形・デザイン団体の創設に関わり、大阪芸術大学でも教鞭をとりました。70年大阪万博では生活産業館のアートディレクターを務め、76年に大阪府知事賞、86年にはデザイン業界での功績により大阪府産業功労賞を受賞しました。またアートの世界では、油彩とあわせて、墨と和紙による水墨画風の作品を59年頃から多く手掛け、東洋的な世界を追求するようになりました。

今回の展示では、豊中市が所蔵する作品に加え、ご遺族や関係者からお借りした40~50年代の作品を一部修繕をしてご覧いただけるようにしました。49年大丸心斎橋店で開催された第12回自由美術家協会関西展出品の「中間子」。50年の「庭」、51年の「作品」、初期の「みつこし」表紙や豊中市の広報誌、地図のデザインなども加え、絵画およびデザインの世界で国内外にて幅広く活躍した田中健三の軌跡を紹介します。

1. 中間子 1949年
2. みつこし 広報誌 1938年
3. 如来B 1987年
4. 作品L 1950年
5. 母(追憶) 1987年
6. 森の遊 1954年
7. 富士75-1 1973年



4



1



3



2



5



6



7

豊中市との関わり

52年豊中信用金庫壁画制作、55年豊中市美術協会の設立。第1回豊中市展(現:豊中市美術展)を克明小学校で開催し、洋画、デザイン部門の審査員を長らく務める。57年桜塚に移住。62年東邦幼稚園遊具制作、71年教育委員会より社会教育功労者として表彰される。73年上野小学校モニュメント制作、74年豊島小学校百周年モニュメント制作。75年広報担当顧問

委嘱。76年原田小学校モニュメント制作、77年市民ギャラリー開設協力。79年田中健三芸術研究所開設、82年~86年には社会教育委員と文化振興懇話会委員を務める。93年には豊中芸術功労市長賞を表彰される。とよなか広報誌や豊中市地図、国際交流センターのマーク、市章のリデザインなど豊中市の広報デザイン関係に大きく貢献してきた。



とよなか広報誌



豊中市立豊島小学校創立
百周年記念モニュメント

関連イベント
講演会
(参加無料)

「田中健三の生涯と芸術を語る 1930~1950年代を中心に」

講師:本展キュレーター 中塚宏行氏(美術評論家) 定員:30名(要申込・先着順)

日時:8月8日(土)14時~(開場13時45分~)

場所:豊中市立文化芸術センター 多目的室

お申込みなど詳しくは豊中市の
ホームページをご確認ください

問い合わせ先

豊中市文化芸術課 TEL:06-6858-2551

展示会場

豊中市立文化芸術センター 大阪府豊中市曾根東町3-7-2

アクセス

阪急宝塚線「曾根」駅下車 東へ約300メートル徒歩約5分

※地下に有料駐車場もございますが数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください

